

第7号様式 (第4条関係)

まちづくりアドバイザー登録票

ふりがな	たなか まさや
氏名	田中正弥
所属(勤務先)	まちなみ景観課へお問い合わせください
連絡先	
専門分野	都市計画、地区計画、地区まちづくり、防災まちづくり
支援可能事項	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちづくりの進め方(ワークショップなど)について ■ まちづくりの事業手法や制度について ■ まちづくりの計画・ルールづくりについて <input type="checkbox"/> 建築制限、開発制限について <input type="checkbox"/> 不動産鑑定、税務、法律について ■ 防災まちづくりについて <input type="checkbox"/> その他()
支援可能事項における実績等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間都市計画プランナーとしての実績(昭和49年4月～平成20年3月) <ul style="list-style-type: none"> ・一貫して都市計画プランナーとして、全国各地の都市計画・都市整備に関わる調査・計画作成や住民参加による地区まちづくりの活動支援、合意形成支援、まちづくり計画の作成の業務に携わってきた ■ 横浜市まちづくりコーディネーターとしての実績(登録した平成8年6月～20年3月の8年間に住民まちづくり活動支援に派遣される) <ul style="list-style-type: none"> ・平成15～17年：青葉区美しが丘4丁目A地区の地区計画策定に向けた住民のまちづくりを支援 [平成18年3月に都市計画決定] ・平成16～17年：戸塚区郷和台地区、港南区パークヒル上大岡における建築協定の更新に向けた住民活動を支援 [協定更新を実現] ・平成18～20年：都筑区すみれが丘における住環境を守るまちづくり活動を支援 ・平成19～20年：新横浜駅南口、鶴ヶ峰駅北口周辺の整備・まちづくりに向けた協議会の活動を支援 ■ 八王子市まちづくりアドバイザーに登録(平成18年6月～20年3月) <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市が平成20年3月に開催した「地区まちづくりフォーラム～条例を活用した地区まちづくりの勧め～」のパネルディスカッションにおいてパネリストを務めた ■ 中野区管理職としてのまちづくりの実績(平成20年4月～25年3月) <ul style="list-style-type: none"> ・任期付公務員として都市計画マスタープラン、地域のまちづくり、木密地域改善を担当し、住民との協働による計画作成や、意見交換会、ワークショップ等を実施した
論文その他の実績等	

その他PR事項

○私は、これまでの都市計画にかかわる実務経験を通じて、都市計画法、地区計画、建築協定、自主協定、まちづくりプランと地域まちづくりルール、都市計画提案制度、市街地開発事業などの制度やまちづくりに関する専門知識を有していると自負しています。

○得意な支援内容としては、法律・制度・まちのルールや事業の解説、住民によるまちのルールづくり検討・意向調査・合意形成のコーディネートや指導を挙げることができます。

例えば、以下のような事柄について適切なアドバイスができると思っています。

まちづくりの進め方について	<ul style="list-style-type: none">・まちづくりに向けてどういう取り組みをどういう手順で行った方がいいのか・地域への呼びかけの方法、どのような検討組織をつくと良いのか、どのように組織化に導いていくか、議題やスケジュールをどう組むか・意向調査の進め方、勉強会や街歩きイベントの進め方・まちのルールづくりの進め方、検討状況を地域に知らせる方法・ニュースの作り方、合意形成・関係者の説得の進め方
まちづくりの事業手法や制度について	<ul style="list-style-type: none">・都市計画プランナー、都市計画行政職の実務経験により培った都市計画や都市整備、まちづくりの関連制度や事業手法について精通しており、専門的なアドバイスが可能

○「まちづくりをうまく進めるための留意点」として感じている点を以下に整理します。
(住環境を守り育てることを目的としたまちづくりを想定)

- ・一人でも多くの住民・関係者から賛同、協力を得られるように運動を盛り上げることが重要。
- ・地域の課題を皆さんで共有することが必要。まちづくりへの関心を高めることにつながる。
- ・皆で取り組むとこんなに良くなるんだということを多くの方に肌で感じてもらう。まちづくりの効果の実感。
- ・有志の方による勉強会から始めて次第にその輪を大きくしていく。まちづくりイベントやチラシなどにより、住民の皆さんの関心を喚起する情報発信に積極的に取り組む。
- ・急がずじっくりやることが重要。まちづくりへの関心は人によって温度差がある。合意まで到達するのは時間がかかる。気長に取り組む心構えが必要。
- ・人により利害が異なり、考え方も千差万別であることに留意する必要がある。皆さんが共通して賛同できるような内容のルールを見つけることが成立の前提条件となる。